

# 区別防災カルテ

西区  
北区  
大宮区  
見沼区  
中央区  
桜区  
浦和区  
南区  
緑区  
岩槻区

# ①区の概況と課題

# さいたま市防災カルテ

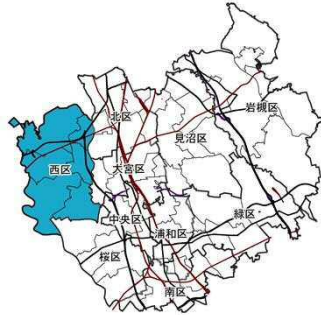
西区



## ◆区の概要

- 【位置】さいたま市の北西に位置し、川越市と隣接。
- 【地形】区域の東側に鴨川、西側に荒川を擁し、全域が水と緑に恵まれた地域。
- 【土地利用】市街化調整区域の割合が高く、JR川越線を挟んで住宅を中心とする市街地が広がる。
- 【交通】西大宮バイパスと新大宮バイパスが交わる宮前インターがあり、道路交通網の要衝。

## ◆全体図



## ◆防災関連施設情報(区内施設数) (平成26年2月時点)

避難場所	23ヶ所	消防署・出張所	2ヶ所	市役所・区役所	4ヶ所
一時避難場所	3ヶ所	警察署・交番	4ヶ所	支所・市民の窓口	4ヶ所
広域避難場所	0ヶ所	救急病院	2ヶ所	応急給水場所	10ヶ所

## ◆区内被害想定結果

地震	さいたま市直下地震	関東平野北西縁断層帯地震	東京湾北部地震			
最大震度	6強 (6.3)	6強 (6.4)	6弱 (5.8)			
最小震度	6弱 (5.9)	6弱 (5.8)	5強 (5.2)			
死者	150人	145人	4人			
負傷者	948人	939人	140人			
避難者	24,187人	23,429人	939人			
全壊建物棟数	8,300棟	8,093棟	119棟			
うち焼失棟数	5,783棟	5,630棟	5棟			
半壊建物棟数	6,576棟	6,484棟	2,439棟			
水害	荒川	利根川	江戸川	芝川等	綾瀬川等	鴨川等
床上浸水建物棟数	15,937棟	0棟	0棟	0棟	0棟	293棟
床下浸水建物棟数	6,116棟	0棟	0棟	0棟	0棟	634棟

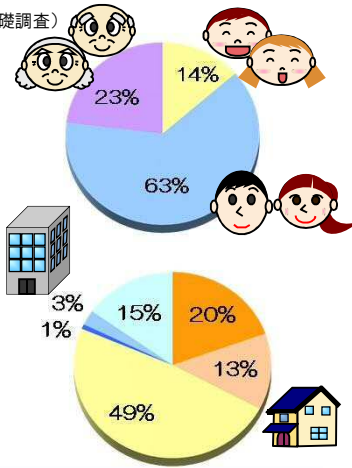
## ◆区内人口・建物概況

(人口:平成22年国勢調査)  
(建物:平成23年度さいたま市都市計画基礎調査)

人口等	人口	割合
総人口	84,029人	
0-14歳	11,351人	14%
15-64歳	53,317人	63%
65歳以上	19,361人	23%
人口密度	2,904人/km <sup>2</sup>	
世帯数	31,406世帯	

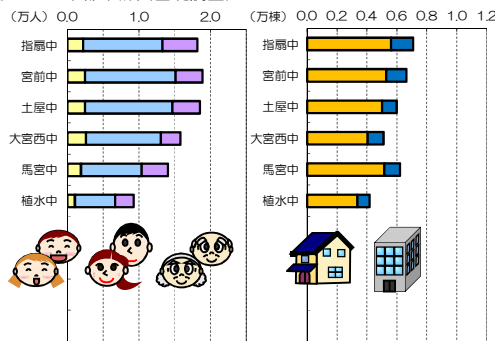
建物	建物棟数	割合
総建物棟数	31,609棟	
木造(昭和46年以前)	6,166棟	20%
木造(昭和47-55年)	4,202棟	13%
木造(昭和56年以後)	15,355棟	49%
非木造(昭和46年以前)	257棟	1%
非木造(昭和47-55年)	827棟	3%
非木造(昭和56年以後)	4,802棟	15%



## ◆学区別人口・建物概況

(人口:平成22年国勢調査)  
(建物:平成23年度さいたま市都市計画基礎調査)

学校区名	人口	建物棟数
指扇中学校区	18,183人	7,082棟
宮前中学校区	18,893人	6,646棟
土屋中学校区	18,526人	5,985棟
大宮西中学校区	15,809人	5,110棟
馬宮中学校区	14,074人	6,219棟
植水中学校区	9,278人	4,176棟



## ◆さいたま市直下地震と荒川水害の被害想定結果

地震	指扇中学校区	宮前中学校区	土屋中学校区	大宮西中学校区	馬宮中学校区	植水中学校区
最大震度	6強 (6.3)	6強 (6.2)	6強 (6.2)	6強 (6.3)	6強 (6.3)	6強 (6.3)
最小震度	6弱 (5.9)	6弱 (5.8)	6強 (6.0)	6弱 (5.9)	6強 (6.0)	6強 (6.0)
死者(人)	21	17	23	38	36	28
負傷者(人)	195	122	172	140	209	175
避難者(人)	1,924	2,314	4,288	7,121	7,849	2,267
全壊建物棟数(棟)	600	661	1,295	2,376	2,922	909
うち焼失棟数(棟)	172	428	845	2,102	2,246	331
半壊建物棟数(棟)	1,325	909	1,206	778	1,609	1,250
水害	指扇中学校区	宮前中学校区	土屋中学校区	大宮西中学校区	馬宮中学校区	植水中学校区
床上浸水建物棟数(棟)	2,514	347	3,934	567	4,871	3,834
床下浸水建物棟数(棟)	2,844	488	1,281	1,006	370	339

## ◆被害想定結果からわかる防災上の主なポイント

- 【耐震化】古い木造建物が多く、多くの建物被害が想定されているため、**耐震化率の向上が必要。**
- 【避難者】高齢者が多く、**地域で協力した避難行動・救助活動が必要。**
- 【水害】水害(荒川・鴨川)の危険性が高い地区となっており、迅速な情報伝達体制や、自主防災組織等による**安全な避難体制の構築が必要。**
- 【避難】避難者の割合が高いため、**避難施設の充実及び運営体制の確保が必要。**



本カルテは一つの例であり、これを基に防災上のポイントや必要な対策について、家族や地域の方々と話し合ってみましょう。

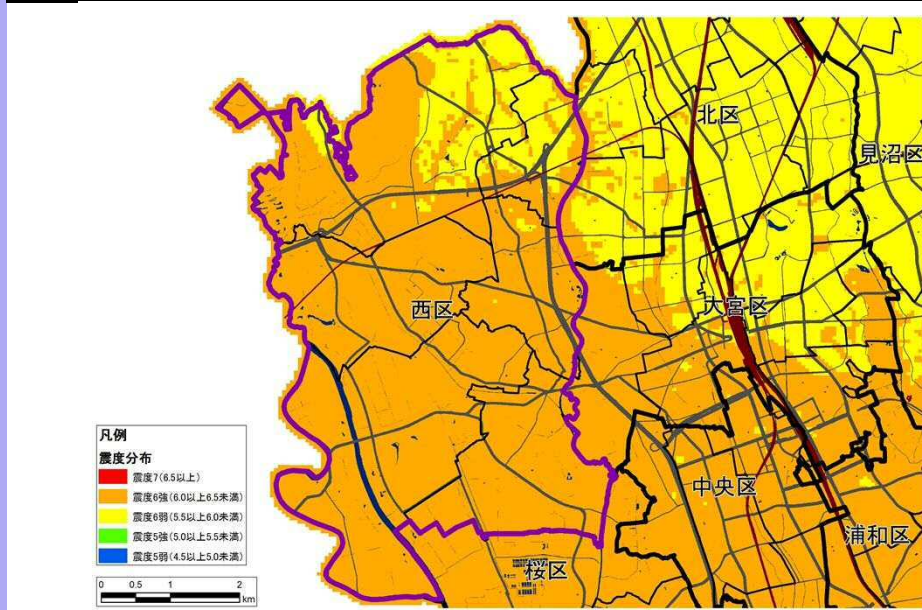
## ②さいたま市直下地震の想定

# さいたま市防災カルテ

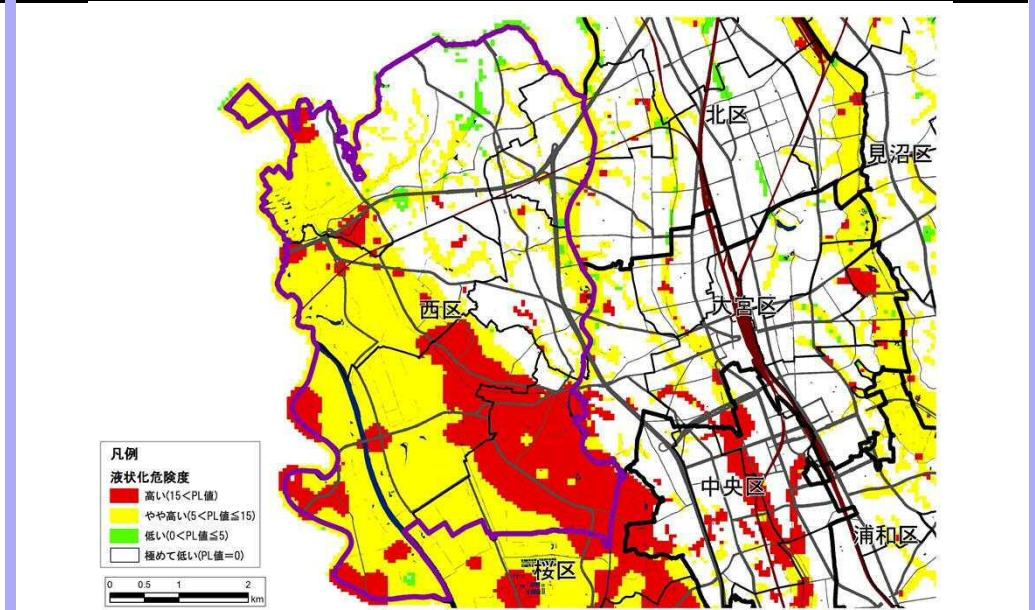
## 西区



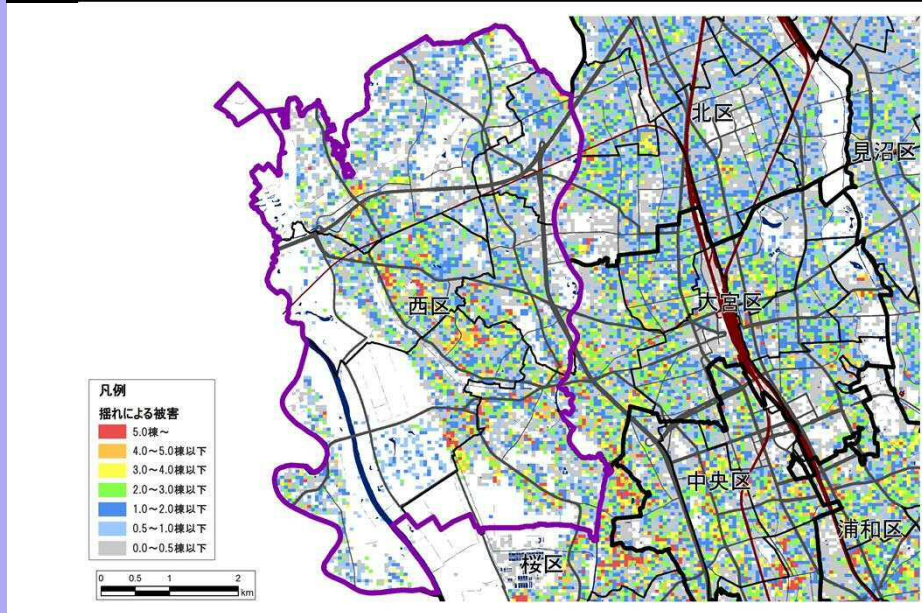
### 震度分布図



### 液状化危険度分布図



### 建物被害分布図（揺れによる被害）



### 建物被害分布図（火災延焼による被害）

